

牛久市環境審議会議事概要		開催日	令和3年7月26日(月)
件名	令和3年度 第2回会議	場所 時間	本庁舎3階 庁議室 9:30~11:25
作成年月日	令和3年7月28日(水)	作成	環境政策課:小河原 晋
出席者	(出席委員) 福島会長、秋山副会長、浅野委員、岡川委員、桑名委員、佐藤委員、牧委員、丸山委員 (牛久市) 山岡環境経済部長、大徳環境経済部次長 (事務局) 横瀬環境政策課長、張替新エネルギー対策室長、久保田副参事、小河原主査 (傍聴者) 1名 (順不同・敬称略)		
議事内容	(1) 第4期環境基本計画の骨子案について(審議) (2) 地球温暖化対策実行計画における温室効果ガス排出量の推計手法及び削減目標の考え方について(審議) (3) その他		
会議内容等			
<p>(1) 第4期環境基本計画の骨子案について(審議)</p> <p>事務局より、牛久市第4期環境基本計画の骨子案の説明</p> <p>委員からの主な意見</p> <p>①基本目標1「環境への意識が高いまち」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアだけでなく、いろんな意味の人材が不足している。 ・ボランティアの育成を誰が、どのように育成するのかを説明する必要がある。 ・例えば日立市の『市民環境リーダー』のようなコアになる人材の育成が必要である。 ・市民だけではなく、行政や事業所など、それぞれの視点からも環境への意識を持つことが大切だということをもっとアピールした方が良い。 ・環境教育・学習の推進について、どのように進めていくか、具体的指標・目標を入れると良い。 <p>②基本目標2「生物多様性と豊かな自然を守り育てるまち」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここだけ数値的な実績や目標がないので、数値目標を記載する必要があるのではないかと。 ・耕作放棄地や遊休農地への対策は、里山や谷津の再生につながる。谷津を活かす農業の可能性を追求することを検討してはどうか。 <p>③基本目標3「ゼロカーボンシティ(脱炭素社会)を目指すまち」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堆肥の循環利用も重要なテーマではないかと。 <p>④基本目標4「無駄なく資源が循環する美しいまち」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の件数について、一般市民では見えにくい部分のため情報発信に努めるべきである。 ・環境系の取り組みは全てを巻き込まないと実施が難しいため、具体的施策「市民や事業者との連携強化」に、「国」という言葉も入れた方が良いのではないかと。 ・ごみを削減することは生活環境がどういう風に豊かになるかを数値的なものでなくても見 			

せられるのがいいのではないか。

- ・「AI の活用や DX の推進に取り組んでいく。」という言葉を入れたら、先進的な取り組みとして示せるのではないか。

⑤基本目標 5 「笑顔あふれる、安全で快適なまち」について

- ・湖沼に流れ込む河川について触れられていない。湖沼の水質保全計画等の目標値などの数値を載せるべきである。

⑥骨子案全体について

- ・牛久市としての個性が描かれていない。何が特徴でどんなところを伸ばしていきたいか、牛久らしさを出していくことが一番大切である。
- ・基本目標 1 と基本目標 2～5 の関連性について再検討し、相互の関係を分かるやすくした方が良い。
- ・関連する SDGs について、記載されている他にも該当するゴールがあるのではないか。

(2) 地球温暖化対策実行計画における温室効果ガス排出量の推計手法及び削減目標の考え方について (審議)

事務局より、温室効果ガス排出削減目標の考え方の説明

委員からの主な意見

- ・前回の推計時と数値が変わっているので、何に基づいて出しているのかを分かるようにした方が良い。
- ・温室効果ガス排出係数とはなんだ、改善策はなんだ、というところを具体的にしてほしい。
- ・環境基本計画のゼロカーボンシティの数値とリンクがしっかりないといけない。
- ・削減目標については国の施策等により変わっていく可能性があると思うので、必要に応じて見直しをするのであればいいのではないか。
- ・誰がどんなことをしたらこんな削減量になるか、市民としてどういうことが協力できるか、対策ごとにそれぞれ関わる度合いが異なると思うので明白に記載してほしい。
- ・国と牛久市の削減目標の数値のギャップを丁寧に説明していくことが必要である。
- ・二酸化炭素以外の温室効果ガスについて、どう考えていくのかを記載することを検討したほうがいいのではないか。
- ・目標値はこのままでいいと思う。その都度見直しはやっていけばよい。目標としては小さなフェーズ（地域）で成功事例を作るのも 1 つの手ではないか。

(3) その他

次回の審議会は、9月27日（月）の9時30分開始を予定する。

以上